

平成25年度 神戸大学技術職員研修(集合研修)日程表

・期間：平成25年9月～平成26年3月

・対象技術職員数：70名

・総合テーマ：「サステナビリティ」

◆全体研修	9:00～ 9:40	9:40～ 9:50	9:50～ 10:00		10:10～ 11:10		11:20～ 12:20		13:20～ 14:20		14:30～ 16:10		16:30～ 17:10	
9月13日(金) 瀬川記念学術交流 会館・大会議室(2F)	受付	開講式 事務連絡	「講話」 学長 福田 秀樹	会場準備	「講義1」 『緑茶の味と地球環 境問題』 人間発達環境学研究所 教授 白杉 直子	休憩	「講義2」 『農業生産における 持続性とは！各地の 農業を見て』 農学研究科 教授 伊藤 一幸	休憩	「講義3」 『ICTを活用した環境適 応型建築 ～サステナ ブルな建築物を目指して ～』 工学研究科 教授 谷 明勲	会場準備	「業務・技術報告」 医学系(1名) 海事系(1名) 農学系(1名) 工学系(2名) (15分+5分)×5件(※)	会場準備	「全体会議」 近畿地区技術職員研修につい て (神戸大学での実施に向けて)	事務 連絡

- *) (医)岩本 直子「臨床心理士の役割」、(海)黒木 克典「熱電対を用いた温度計の試作と半田ごとの特性比較」、(農)田中 大輔「繁殖メス牛の受精卵におけるお灸の効果」、
(工)熊谷 宜久「子供向け実験の実演」、(工)曾谷 知弘「工学研究科における安全技術支援業務-安全講習会の開催に向けて」

◆分野別研修	コース番号 分野 テーマ 講師/担当 等													
9月2日(月)	① 理学分野 【施設見学】 『食物と汚泥の資源化』 (担当：西川 大介 (環境管理センター)) (理学研究科) AM：コープこうべ PM：東灘処理場													
9月12日(木)	② 工学分野 【実習】 『ワンチップマイコンと圧電スピーカーを組み合わせた電子オルゴールの製作』 (講師：伊地知 武吉、山本 大介) (工学研究科)													
9月20日(金)	③ 工学分野 【施設見学】 『人と防災未来センターと竹中大工道具館の見学』 (担当：金尾 優) (工学研究科)													
9月25日(水)	④ 医学分野 【実習】 午前：講義「我が国の死因究明制度の現状」/ 午後：実習「薬物・毒物の検査法」 (講師：中川加奈子) (医学研究科)													
9月27日(金)	⑤ 工学分野 【実習】 『ガラス細工体験1』 (講師：熊谷 宜久、曾谷 知弘) (工学研究科)													
9月26日(木)	⑥ 医学分野 【施設見学】 『健康を科学する』 午前：(株)ヤクルト本社 兵庫三木工場 (担当：鉢田和代) (医学研究科) 午後：兵庫県立健康生活科学研究所 (担当：藤 富義)													
9月24日(火)、 27日(金) (2日間コース)	⑦ 海事分野 『海事教育一舟を知る』 (担当：小川 宏樹、浅野 一朗、岩永 たまき) (海事科学 研究科) 1日目：【実習1】操船シミュレータ実習 (講師：岩永 たまき) 【実習2】ヨット実習 (講師：山下 和雄 准教授) 2日目：【実習3】カッター実習 (講師：瀧 真輝 准教授、広野 康平 准教授)													
11月中～下旬	⑧ 農学分野 作物関係【施設見学】『特別栽培農産物にかかる表示ガイドライン』および『ひょうご安心ブランド農産物』 (担当：橋爪 浩和・富士松 雅樹) (農学研究科)													
11月中～下旬	⑨ 農学分野 果樹関係【施設見学】『ナシ(果物)の加工施設見学』 (担当：箕 重文) (農学研究科)													
11月13日(水)	⑩ 農学分野 畜産関係【施設見学】『養鶏場GPセンターと鶏飼育施設見学』 (担当：久下 志朗) (農学研究科)													
2月中旬～3月上旬	⑪ 農学分野 【施設見学】【実習】未定 (農学研究科)													

(注) 1)全体研修の受講は必修とします。 2)分野別研修は各コースから2日分を選択とします。 3)基本的に全学オープン化とします。 4)開講式は行いません。

平成25年度 神戸大学技術職員研修 集合研修・分野別研修コース概要一覧

2013.9.9

コース番号 日程	(分野)『テーマ』 集合場所/実施場所 (受講者定員)	内容概要【担当講師】
① 9/2(月)	(理)『食物と汚泥の資源化』 JR住吉駅/コープこうべ、東灘処理場 (15名(担当含まない))	《施設見学》 大量生産大量消費の20世紀に対し、21世紀は省資源やCO2削減といった言葉がメディアでも多く出ており、持続可能な社会を目指す時代といえる。神戸市内の身近な施設でも廃棄物を利用する試みがなされている。コープこうべでは食料残渣からバイオガスを生成し発電へとつなげたり、食用廃油と生おからから飼料を生成している。東灘処理場では汚泥からバイオガスを生成し、発電へとつなげている。施設見学を通して、これらのプロセスを学ぶ。 【担当:西川 大介 技術職員】
② 9/12(木)	(工)『ワンチップマイコンと圧電スピーカーを組み合わせた 電子オルゴールの製作』 工学研究科 情報知能実験室(D2-302)/同左 (10名(担当含まない))	圧電スピーカーには、自動発振式と他励発振式があり、自動発振式は音の高さが固定されており本コースには不向きであるが、他励発振式のプザーは、かける周波数により音の高低をコントロールできる。ワンチップマイコンPIC12F675と組み合わせて“ドレミファソラド”を発振させ、各種の曲を奏でる電子オルゴールを製作する。またボリュームを動かすことにより電子楽器としても使える。 【講師:伊地知 武吉 技術職員、山本 大介 技術職員】
③ 9/20(金)	(工)『人と防災未来センターと竹中大工道具館の見学』 人と防災未来センター入口前/ 人と防災未来センター、竹中大工道具館 (20名程度(担当含まない))	《施設見学》 趣向の異なる2か所の建築系施設を見学する事で、建築という分野を多角的に知る事を目的とする。午前中に「人と防災未来センター」を見学。阪神淡路大震災についての資料や防災に関する企画展、体感型の展示を通じて、防災・減災の知見を学ぶ。午後からは「竹中大工道具館」の見学。伝統的な大工道具の展示や、道具にまつわるエピソードを知る事で、古くから積み重ねられてきた建築の知恵を学ぶ。 【担当:金尾 優 技術職員】
④ 9/25(水)	(医)『死因究明制度と法医薬毒物検査法』 医学研究科 研究棟B 3階 第4実習室/同左 (10名程度(担当含まない))	国内で死亡した人が受け取る死亡診断書・死体検案書の書式の解説と、我が国の死因究明制度のあゆみを紹介する。午後からは、採取した検体で行う諸検査を紹介し、薬毒物検査実習と、大型機器(LC/MSとGC/MS)の見学を行う。 【講師:中川 加奈子 技術専門職員、久世 重澄 特命技術員】
⑤ 9/27(金)	(工)『ガラス細工体験1』 工学研究科 第2学生実験室B(4W-102)/同左 (6名(担当含まない))	化学実験では、様々なガラス製実験器具を使用する。ガラス器具には市販品をよく使用するが、市販品は汎用性が高い反面、細かな用途に適していない場合があり、汎用品は適さない実験も大学ではよくある。そこで、ガラス細工を行い、自分達の目的に合ったガラス器具を製作している。本研修では、まずガラス及びガラス細工についての説明を聞き、実際にガラス細工を行っている様子を見学する。次に、実際に受講者が製作の体験を行う。 【講師:熊谷 宜久 技術専門職員、曾谷 知弘 技術専門員】
⑥ 9/26(木)	(医)『健康を科学する』 医学研究科研究棟前/(株)ヤクルト本社 兵庫三木工場、 兵庫県立健康生活科学研究所 (15名程度(担当含まない))	《施設見学》 私たちの健全な腸内環境を維持する細菌としてメジャーな乳酸菌について学ぶため、今年より稼働した健康食品工場を見学する。当該工場においては、最新の生産ラインや検査装置、品質管理体制についての情報を収集しながら、乳酸菌の幅広い効用の一端に触れていただければ幸いである。また、午後は県立健康生活科学研究所に場所を移し、公衆衛生に関する調査研究や試験分析法について学び、感染症や食品、医薬品、飲料水などに関する科学的、技術的根拠に関する情報を収集する。以上により、われわれの健康維持・増進を図るためのサイエンスについて考える機会を予防医学の観点から持つ。 【担当:鉢田 和代 技術専門職員、薛 富義 技術専門員】

⑦ 9/24(火)、 27(金) 2日間コース	(海)『海事教育一舟を知る』 海事科学研究科 海技教育センター4階 操船シミュレータ室/同左、ヨット乗船、カッター乗船(荒天時:梅木Nホール) (12名(海事担当含む))	操船シミュレータを通じ、また、ヨット、カッターに乗船し、船舶の特徴について理解を深めると共に、海事教育の一端を体験する。操船シミュレータでは、転落者救助時の操船方法の一つであるウィリアムソンターンを行い、船舶による運動特性の違いを体験する。ヨット、カッターでは、実際に乗船し運航作業を行うので、軽い運動ができる服装(運動靴、ズボン)で参加すること。日陰の無い海上実習の為、日差し対策として、帽子、サングラス着用が望ましい。(どちらも、風で飛ばない様に対策しておきたい) 1日目:【実習1】操船シミュレータ実習 (講師:岩永 たまき 技術専門職員)【実習2】ヨット実習 (講師:山下 和雄 准教授) 2日目:【実習3】カッター実習 (講師:河 真輝 准教授、広野 康平 准教授) 【担当:小川 宏樹 技術専門職員、浅野 一朗 技術専門職員、岩永 たまき 技術専門職員】
⑧ 11月中～下旬 の内1日	(農) 作物関係『特別栽培農産物にかかる表示ガイドライン』および『ひょうご安心ブランド農産物』について 食資源センター/加西農業改良普及センター 真南条上宮農組合 (8名程度、内食資源4名担当含む)	《施設見学》 兵庫県が認証する「ひょうご安心ブランド」について加西農業改良普及所にて認証に必要な栽培条件や、それに係る農家の取り組みについて説明を受ける。 また、「特別栽培農産物」にかかる表示ガイドラインについての説明を受け 真南条上宮農組合で「ひょうご安心ブランド」の認証を受けているコマ、パレイシ、黒大豆について圃場見学と栽培について質疑をおこなう。 今後センター農産物の認証に向けての検討をおこなう。 * 播磨県民局加西農業改良普及センター 〒679-0103兵庫県加西市別府町西大谷甲2662 * 兵庫県立農業総合技術センター敷地内 真南条上宮農組合 〒669-2462篠山市真南条上167-1 【担当:橋爪浩和 技術専門職員、富士松雅樹 技術専門職員】
⑨ 11月中～下旬 の内1日	(農) 果樹関係『ナシ(果物)の加工施設見学』 食資源センター/樽正本店、フルーツ・フラワーパーク (8名程度、内食資源4名担当含む)	《施設見学》 近年の猛暑による果実の生育障害や表皮の斑紋等の障害により生産物の廃棄量が増加している。 そこで、外観を問わない加工品に注目し、果樹物の加工に関する施設を見学する。 * 神戸市立フルーツ・フラワーパーク 〒651-1522 神戸市北区大沢町上大沢2150 * 樽正本店 〒652-0112 神戸市灘区琵琶町3丁目2番1号 【担当:寛重文 技術専門職員】
⑩ 11月13日(水)	(農) 畜産関係『養鶏場GPセンターと鶏飼育施設見学』 食資源センター/京都養鶏生産組合、 農業公園信貴山のどか村 (8名程度、内食資源5名担当含む)	《施設見学》 京都養鶏場GPセンターにてタマゴの洗卵～選別～パック詰めまでの行程と品質管理について見学する。 その後、農業公園信貴山のどか村で飼育されている採卵鶏の施設見学および飼養管理について学ぶ。 * 農事組合法人 京都養鶏生産組合 〒610-0121 京都府城陽市ラダ奥山1-62 * 農業公園信貴山のどか村 〒636-0834 奈良県生駒郡三郷町南畑171-1 【担当:久下 志朗 技術専門職員】
⑪ 2月中旬 ～ 3月上旬 の内1日	(農)『未定』 *****/ ***** (*****)	【担当:*****】

※(分野)工:工学分野、農:農学分野、医:医学分野、海:海事分野、理:理学分野 ※担当/講師の下線は、複数の担当/講師がいるコースでの担当代表者を示す。